

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi



会長就任のご挨拶

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

会長 神山清志

会員、賛助会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より当会の運営・活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当会の役員改選に伴い、6月12日に開催されました令和2年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会定時会員総会におきまして22名の理事が会員の承認を受けて選任され、引き続き行われました理事会にて、私 神山清志が会長（代表理事）をもう1期務めさせていただくことになりました。謹んでご報告申し上げます。

当会は、昭和28年に埼玉県細菌・病理試験技術者会として発足し、昭和60年に特例民法法人である社団法人埼玉県臨床衛生検査技師会となり、平成26年1月に公益社団法人埼玉県臨床検査技師会へと変遷しています。その間、17名の会長のリーダーシップのもとで会が健全に成長し続けていることは諸先輩方の努力の賜であることと敬服いたしております。

現在の医療の中で臨床検査は必要不可欠なものであり、精度の高い検査結果は疾病の予防、診断、治療へと大きく貢献しています。しかし、その臨床検査を生業とする臨床検査技師の名は一般的に知られておらず、ある種のマイナーな資格であると言われても否定できない現状もあります。私たち埼臨技役員は一丸となり会員の学術・技術の向上、検査値を客観的に保証する精度管理事業の推進はもちろんのこと、県民に臨床検査の必要性和、臨床検査技師という職種を知っていただくよう、行政等が実施する健康展への協力や埼臨技学会の市民公開講演等を積極的に実施したいと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症といった誰もが予想しなかった事態に世界全体が翻弄されております。私たち臨床検査技師は検査の専門家として正しい知識と技術をもってこの局面に対峙したいと考えます。そして、県民の皆様が安心して検査を受けられる体制づくりに関係省庁、関連団体と連携をとり対応してゆく所存です。

しかし、実際に直接見えないウイルスが相手であり、ウイルスの性質や感染のメカニズムが完全に解明されていないなか、私たちが行う研修会等の事業においてはどうしても、防御優先の対応をとらなくてはならない現実もあります。会員の皆様におかれましては、せっかく受講できるはずの研修会が延期や人数制限等となり、満足いただける会務が提供できない状況にもなっておりますが、事情をご勘案いただきお許しいただければと存じます。

会長二期目の船出は順風満帆とは言えませんが、会員、賛助会員、県民の皆様への期待にこたえられるような会務運営を役員一丸となり執り行う所存ですのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年度 定時会員総会が開催される

令和2年度定時会員総会が令和2年6月12日(金)大宮ソニックシティ401・402号室にて開催された。本総会の審議内容は、令和元年度事業報告、収支決算報告、監査報告、第49回埼玉県医学検査学会学会長選出および令和2・3年度理事の選任についてであった。総会は濱本隆明事務局次長の進行で、神山清志会長の挨拶で始まり、瑞宝双光章を受章された埼臨技前会長の津田聡一郎氏の挨拶に続いて、名誉会員である原繁一氏の紹介があった。

総会に先立ち各賞表彰式が行われ、令和2年度埼臨技功労賞に第47回埼玉県医学検査学会長の来住野修氏が受賞され、都合により欠席された来住野氏に代わり、奈良豊実行委員長が授与された。永年勤続表彰は50名の会員が該当し、総会では4名が表彰された。続いて「令和元年度埼臨技会誌優秀論文賞」が久保田亮編集副委員長より発表され、本田聡子氏(埼玉県立小児医療センター)の論文『キシレン代替として2-プロパノールを用いた自動包埋処理方法の検討』が受賞した。受賞された方々に謹んでお祝いを申し上げたい。

総会は議案審議に先立って長谷川隆氏(一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター)が議長に選出され、長谷川議長により総会役員が指名された。資格審査委員は神嶋敏子理事、東部地区から久保田亮氏(埼玉県立大学)、南部地区から急政志氏(埼玉県立小児医療センター)、西部地区から神戸考裕氏(関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所)、北部地区から笹野勝年氏(熊谷総合病院)が任命され、資格審査委員長には委員の互選により神嶋理事が選出された。また、書記は石井千晴氏(越谷市立病院)と鈴木由美子氏(浦和医師会メディカルセンター)が、議事録署名人には田中亜紀氏(熊谷総合病院)と関口久男氏(埼玉県済生会栗橋病院)がそれぞれ任命された。その後、長谷川議長は「18時30分現在の出席者数61名、委任状出席者数1,938名、議決権行使書数247名で、合計2,246名であり、本通常総会を構成する会員数は6月1日現在の会員数は3,199名で、現在の出席者数は総会審議のための必要出席者数である1/2を超えており、『定款』第18条の規定により本総会は成立している。」と宣言された。(最終の出席者数は77名、委任状出席者数は1,938名、議決権行使書数は247名、2,262合計名)

議事審議は、最初に神嶋資格審査委員長より、議事日程が提案された。それに沿い長谷川議長の進行により審議が始まり、第一号議案の令和元年度事業報告について神山会長から、第二号議案の収支決算について松岡優副会長から、監査については遠藤敏彦監事より報告があった。質疑などはなく満場一致で可決された。第三号議案の第49回埼玉県医学検査学会学会長選出は、神山会長より飯田眞佐栄氏(株式会社アムル 上尾中央臨床検査研究所)を推薦する旨の提案があり、異議なく承認され、飯田氏があいさつを行った。

続いて、第四号議案の令和2・3年度理事の選任について神山会長より提案説明が行われ、塚原晃氏(戸田中央総合病院)、松崎朋子氏(自治医科大学附属さいたま医療センター)、飯野望氏(埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科)、松尾千賀子氏(埼玉医科大学総合医療センター)、長谷川隆氏(一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター)の新任理事5名が加わった22名の理事が承認され、すべての議案が可決された。

総会終了後、岡田茂治副会長の進行の下、第48回埼玉県医学検査学会長の武関雄二氏より学会からのお知らせと、今回の総会をもって退任される岡田副会長、奈良常務理事、小島理事、濱田理事



議長 長谷川隆氏



瑞宝双光章受章
津田聡一郎氏

より挨拶が行われた。同時に行われていた新理事による令和2年度第5回理事会にて新会長に神山清志氏が選定され会員の皆様へ挨拶があり、全ての日程が終了となった。

本総会が円滑に開催できたのは、長谷川議長の円滑な進行と総会役員、出席者の協力および多くの会員の皆様からの委任状協力によるものです。この場をお借りし厚く御礼を申し上げます。また、退任される理事におかれましては、長きに渡り埼臨技運営にご尽力いただきありがとうございました。

(文責：菊池裕子)



永年会員表彰



埼臨技会誌優秀論文賞 本田聡子氏 (中央)



公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 令和2年度 役員名簿

役務担当	氏名	施設名
会長	神山 清志	一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター
副会長	矢作 強志	川口市立医療センター
副会長	松岡 優	埼玉医科大学病院
副会長	猪浦 一人	埼玉県済生会栗橋病院
事務局長 (常務理事)	小山 博史	JCHO 埼玉メディカルセンター
事務局次長 (常務理事)	濱本 隆明	防衛医科大学校病院
事務局次長 (常務理事)	長澤 英一郎	さいたま市立病院
総務部長 (常務理事)	山口 純也	埼玉県済生会川口総合病院
総務部	神嶋 敏子	埼玉県立小児医療センター
総務部	菊池 裕子	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
総務部	松尾 千賀子	埼玉医科大学総合医療センター
事業部長 (常務理事)	伊藤 恵子	学校法人 恵済学園 東武医学技術専門学校
事業部	笹野 勝年	社会医療法人 熊谷総合病院
事業部	塚原 晃	戸田中央総合病院
事業部	松寄 朋子	自治医科大学附属さいたま医療センター
会計部長 (常務理事)	石井 直美	越谷市立病院
会計部	神戸 考裕	関東甲信越ブロック血液センター 埼玉製造所
学術部長 (常務理事)	長岡 勇吾	さいたま赤十字病院
学術部	阿部 健一郎	深谷赤十字病院
学術部	久保田 亮	埼玉県立大学

役務担当	氏名	施設名
学術部	長谷川 隆	一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター
学術部	飯野 望	埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科
精度保証部長（常務理事）	阿部 健一郎	深谷赤十字病院
監事	遠藤 敏彦	株式会社 ビー・エム・エル
監事	細谷 博光	細谷会計事務所



◆ 新任理事の自己紹介



戸田中央総合病院
塚原 晃

この度、埼玉県臨床検査技師会理事としての機会を与えていただいたことに、感謝申し上げます。当会主催の研修会や学会等で、習得した知識・経験を会員の皆様へ恩返しする機会と捉え、今までの人脈を大切にしつつ、当会の更なる発展に尽力させていただき所存です。今後ともご指導ご鞭撻をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



自治医科大学附属さいたま医療センター
松寄 朋子

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を務めさせていただきます松寄朋子と申します。埼玉県には7年前に転勤してまいりました。理事という大役をおおせつかり、大変恐縮しております。まだまだ若輩者で皆様のお力をお借りすることもあるかと思いますが、これからは、諸先輩理事の方々にご指導を賜りながら、会員の皆様のお役にたてます様に頑張ってみますので、よろしくお願い申し上げます。



埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科
飯野 望

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命いたしました飯野望と申します。栃木県から埼玉県の臨床検査技師会に移籍して五年余りしか経っておらず、一から学ぶつもりでおります。微力ではありますが、皆様のお役に立てるように努めて参りますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



埼玉医科大学総合医療センター
松尾 千賀子

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命いたしました松尾千賀子と申します。早く会の業務に慣れると共に、私自身も様々なことを勉強していきたいと思っております。このような機会をいただいたことに感謝し、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター
長谷川 隆

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命いたしました長谷川隆と申します。学術部で生涯教育を担当させていただくことになりました。各研究班のご協力をいただきながら、研修会等の運営を通じて会員の皆様のお役に立てますよう、微力ながら努めてまいります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



第48回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和2年12月6日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



学会公式LINE
アカウント

第48回埼玉県医学検査学会
会計部長 石井 直美

いよいよ夏本番ですね。このだよりがお手元に届くころには演題・抄録の受付が締切られ、登録をしていただいた発表予定の皆さんもやれやれと安堵している頃かもしれません。しかし、学会本番は意外と足早にやってくるものです。早め早めの準備を心がけましょう。

実行委員会のほうも準備万全といきたいところではありますが、例年と異なる「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策」に戸惑っているのも事実です。実行委員会恒例の飲みニケーションは皆無、会議自体も縮小傾向という点について、一番悲しんでいるのは学会長かもしれません。COVID-19の影響があっても学会の開催に漕ぎつけられるよう、より良い手段を模索しております。

市民公開講演では「笑い与健康」について、医師であり日本笑い学会講師でもある松本光正先生にご講演いただきます。「笑いはずべての病気の予防、治療になる」という先生のお話を皆で聴講し、COVID-19なんて笑って吹き飛ばしましょう！

学会最後の演目は、浦和学院高等学校のソングリーダー部によるパフォーマンス（チアダンス中心の競技）です。日本だけでなく米国の大会でも実績を残している高校生達を是非とも応援してあげてください。

- 10) 5月28日(木)日臨技より厚生労働省から「医療人材の緊急確保促進プランに関する募集情報について」が発出された旨、連絡があった。
 - 11) 塩野県議会議員と面談を行い、神山会長、松岡副会長が対応した。
 - 12) 5月30日(土)一斉メールにて埼臨技主催の事業について(6月分)を埼臨技会員向け送信した。尚、日臨技サーバーに不具合があり6月2日(火)に再送信、6月3日に再々送信した。
 - 13) 6月3日(水)日臨技より厚生労働省から「臨床検査技師に対する新型コロナウイルス感染症の診断を目的としたPCR検査のための鼻腔・咽頭拭い液の採取に関する研修の実施について」が発出された旨、連絡があった。
 - 14) 6月3日(水)日臨技より厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)の周知(協力依頼)」が発出された旨、連絡があった。
 - 15) 一斉メール(都道府県発信)についてサーバー障害が発生し5月30日配信の6月分行事に関する通知が一部不達となっている。原因調査中。
- ## 2 総務部
- 1) 5月29日(金)埼臨技だより 第493号編集会議(メール会議)を行った。
 - 2) 「埼臨技だより」第493号6月15日発行予定
 - 3) 大宮ソニックシティ新型コロナウイルス対策状況について資料をもとに菊池理事より報告があった。
- ## 3 事業部 特になし
- ## 4 学術部
- 1) 生涯教育研修プログラム8月9月分をだより6月号に同封予定。
 - 2) 生涯教育研修会、6月は10研修会中9研修会、7月は5研修会中2研修会が中止もしくは延期となった。
 - 3) 支部学術部門委員候補者に下記4名の推薦を行った。
血液部門：中山 智史 氏
(防衛医科大学校病院)
微生物部門：渡辺 典之 氏
(埼玉医科大学国際医療センター)
臨床化学部門：永井 謙一 氏
(埼玉県済生会川口総合病院)
病理部門：岡村 卓哉 氏
(獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科)
一般部門：藤村 和夫 氏
(埼玉県済生会川口総合病院)
 - 4) 埼臨技主催研修会の事前予約申し込み方法について猪浦部長より報告があった。
- ## 5 精度保証部 特になし
- ## 6 会計部
- 1) 令和2年度正会員費78名390,000円、入金金38名分38,000円 合計428,000円の入金があった。
 - 2) 株式会社メテオから文献許諾使用料454円、著作権使用料5,000円、合計5,454円の入金があった。
 - 3) 株式会社サンメディアから文献許諾料1,305円(8件)の入金があった。
 - 4) 株式会社石井印刷に埼臨技だより492号印刷代56,848円、封筒角2印刷代60,500円 合計117,348円を支払った。
 - 5) 4名×5,000円 合計20,000円の会費を返金した。
- ## 7 精度管理委員会 特になし
- ## 8 一都八県会長会議 特になし
- ## 9 日臨技関甲信支部
- 1) 令和2・3年度の部門長、部門員を選考中。部門員に関しては会長・学術部長の承認で推薦となっているが、理事会への都度報告は行わず、決定後に一括報告とする旨が支部会・一都八県会長会議で承認されている。
- ## 10 日臨技
- 1) 6月20日の総会について、新型コロナウイルス感染対策として総会役員ならびに事業報告を行う最低限数の理事で実施する。それ以外の理事については最終決定に従い参加の可否を判断する。
 - 2) PCR技術者養成講習会と検体採取指定講習会の開催について報告があった。
- ## 11 第48回埼玉県医学検査学会
- 1) 5月15日(金)第48回埼玉県医学検査学会第7回実行委員会を開催した。
 - 2) 第48回埼玉県医学検査学会公式LINEアカウントのQRコードおよび演題募集のPRについて
 - 3) 学会特集号の表紙について
- ## III. 承認事項
- ### 1 事務局
- 1) 会員動向(令和2年度分)
令和2年6月1日現在
会員数 3,199名[令和元年度会員数3,144名]
(新入会員 125名)
賛助会員 45社[令和元年度 81社]
承認された。
 - 2) 令和元年度臨時会員総会、総会役員の変更について
承認された。
 - 3) 埼臨技事務所夏期休暇について
令和2年8月11日(火)から8月14日(金)としたい。
承認された。
- ## 2 総務部 特になし
- ## 3 事業部 特になし
- ## 4 学術部 特になし
- ## 5 精度保証部 特になし
- ## 6 会計部
- 1) 理事希望者へのPC貸与について
松岡副会長より、会務に必要なPCについて業者よりレンタルし、希望する理事に貸与することについて説明があり、審議の結果、承認された。

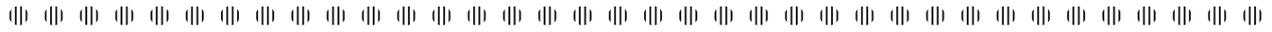
- 7 精度管理委員 特になし
- 8 第48回埼玉県医学検査学会 特になし

- 4 学術部 特になし
- 5 精度保証部 特になし
- 6 会計部 特になし

IV. 議題

- 1 事務局 特になし
- 2 総務部 特になし
- 3 事業部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。



.....
令和2年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第5回 理事会議事録

日時：令和2年6月12日(金) 19時40分より
 場所：大宮ソニックシティ
 さいたま市大宮区桜木町1-7-5
 議題：代表理事選定の件
 出席：(理事)阿部 石井 飯野 伊藤 猪浦
 神嶋 神山 神戸 菊池
 久保田 小山 笹野 塚原
 長澤 長谷川 濱本 松尾
 松岡 松寄 矢作 山口
 (監事)遠藤

欠席：(理事)長岡
(監事)細谷

理事21名(総理事数22名)及び監事1名(総監事数2名)の出席のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午後7時50分散会した。

I. 議題

1 代表理事選定の件

理事 小山博史は選ばれて議長となり、今般、代表理事 神山清志が理事の任期満了により代表理事の資格を喪失することになるので、改めて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、慎重に協議した結果、全員一致をもって、次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。
 代表理事 神山 清志



埼臨技事務所の夏季休暇について

令和2年8月11日(火)～14日(金)

上記期間は事務所が不在となりますので、ご承知おきください。

あ と が き

あつという間に今年も半年終わりました。いかがお過ごしですか？

いまだ、新型コロナウイルス感染症が流行していますね。新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、手洗いと咳エチケット(マスク)です。みなさんも、日頃から気をつけ、感染を予防しましょう。そして一日も早く、流行が治まることを祈っています。

さて、感染拡大を防ぐため、研修会や学会などのイベントも中止や延期となってしまっています。研修会報告がないため、寂しいことに埼臨技だより5月号の紙面より埼玉県医学検査学会のお知らせと理事会報告のみになってしまいました。これもご時世なのでしょう。

季節は夏ですね。湿気と暑さがピークになって、体のだるさや疲れが出やすい時期です。さらに今年も暑さが尋常ではないようです。熱中症予防のために水分を摂取し、睡眠をよくとって暑さに負けないように過ごしましょう。

(奈良 記)

